

2015年5月12日
株式会社ネクス

3G ネットワークに対応した OBD II 型の自動車テレマティクスデータ収集ユニットを開発 業界最高レベル^{※1} の車種対応数とデータ取得数を実現

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：秋山 司、以下、「ネクス」）は、OBD II^{※2} インタフェースに対応した、データ通信ユニット GX410NC を開発、販売を開始致します。

本製品は、自動車に搭載されている OBD II コネクターに接続する事で、今後ますます活発化する自動車テレマティクス^{※3} 分野のビッグデータ収集をおこなうことができます。

ビジネスシーンにおける具体的な使用例としては、急ブレーキや急発進の頻度などの走行情報を収集・分析・評価することで、ドライバーと車両の運転特性に基づいて保険料を算出するテレマティクス保険^{※4} のようなデータ分析型ビジネスや、危険運転を行った際には注意喚起する事でエコドライブを推進するなど自動車の運行管理・動態管理を利用した様々なサービスで活用することができます。

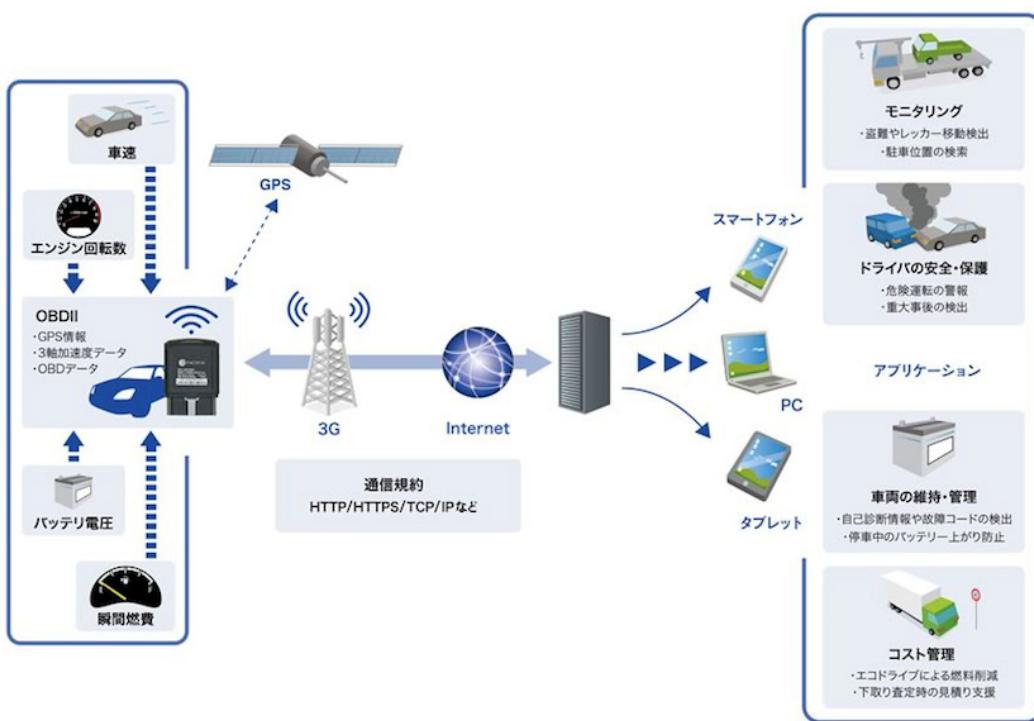
また、本製品は対応する車種と取得できるデータ数は業界最高レベルとなり、非常に高い汎用性を備えております。ネクスは本製品を、運送業、レンタカー、その他業務用車両を直接保有する法人や、システム開発会社や電装機器メーカー等の自動車向けのソリューションを提供する法人や、ガソリンスタンド、アフターパーツ販売店などのエンドユーザー向けにサービスを提供する法人などの、幅広い市場に対して販売を進めてまいります。



GX410NC (OBD II データ収集ユニット)

■本製品の特徴

本製品は OBD II 規格に対応した一般的な製品とは異なり、独自のソフトウェアを多数準備する事で、900 型式という圧倒的な車種対応数を実現しております。また、モバイルの特徴を最大限に生かし、車種追加をソフトウェアアップデートで実現しますので、毎年リリースされる新型車種、特定用途の車両についても、お客様のご要望により順次ソフトウェアのアップデートを行う事ができ、製品としての価値を継続して高めてまいります。

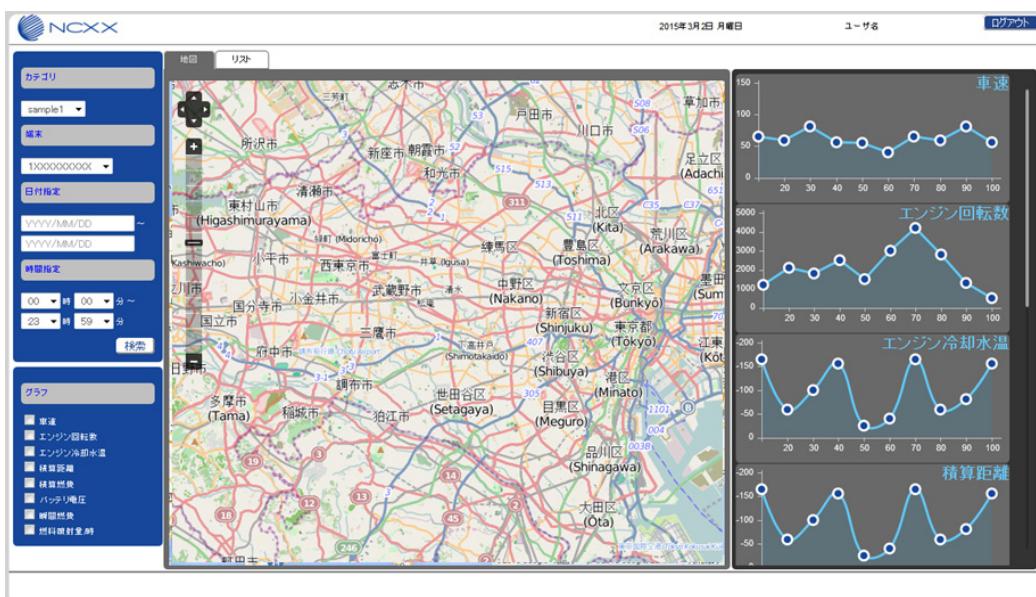


■OBDⅡデータ通信ユニット (GX410NC) の機能

- 基本 10 項目について 900 型式以上対応。追加項目 28 項目についても隨時拡大予定。
OBDⅡ規格のみ対応の一般製品と比較し、圧倒的なデータ取得数、車種対応数を実現
- お客様ご要望に応じて、特殊車両も対応可能
- モバイルによるソフトウェアアップデート機能により、容易に車種追加対応が可能

■GX410NC トライアルサーバイメージ

GX410NC の使用を検討頂くために、トライアルサーバを準備しお客様に評価頂く環境を準備しております。



※トライアルサーバは、順次ユーザビリティ向上のため、隨時更新してまいります。

■GX410NC の仕様


| 取得データ基本項目 | |
|-----------|--------|
| 瞬間燃費 | 積算距離 |
| 燃料噴射量 | 積算燃料 |
| 車速 | バッテリ電圧 |
| エンジン回転数 | 加速度センサ |
| エンジン冷却水温 | GPS |

■GX410NC の概要仕様

| 項目 | 内容 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 型番 | GX410NC |
| 周波数 | 800MHz/2100MHz |
| データ通信速度 | 下り:最大14Mbps 上り:最大5.7Mbps |
| 通信方式 | HSPA/UMTS |
| GPS | Support |
| センサー | 3軸加速度センサー |
| アンテナ | 内蔵アンテナ(3G×1, GPS×1) |
| インターフェース | OBD2 CAN : ISO 11898 準拠、K-Line : ISO 9141 準拠 USB2.0×1(micro USB)メンテナンス |
| SIMスロット | micro SIM |
| 表示・ボタン | 2色LED×1(電源状態、圈外、圈内、OBD通信確立、エラー)、機能ボタン×1 |
| 筐体サイズ | 63×45×22mm以下(突起物除く) |
| 動作温度範囲 | -10～+55°C |
| アクセサリ | OBD延長ケーブル(30cm)、ケーブル固定用テープ、取扱説明書 端末固定用両面テープ(オプション)、端末落下防止用ストラップ(オプション) |

※1 : OBD2 データ、型式対応数、データ取得数の広報発表時点。ネクス調べ

※2 : OBD

OBD (On-board diagnostics) とは、自動車に搭載されるコンピュータ (ECU) が行う自己故障診断のこと。一般にOBD が故障診断した場合は、故障の箇所や内容をランプの点灯や明滅あるいはブザー音などの鳴動でドライバーに伝え、その内容に応じたコードを記録する。専用端末あるいは汎用ソフトウェアを用いて記録されたコードを得ることにより、その内容を解析できる為、様々な用途での活用が今後見込まれている。

※3 : 自動車テレマティクス

テレマティクス (Telematics) とは、テレコミュニケーション (Telecommunication=通信) とインフォマティクス (Informatics=情報工学) から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称。

※4 : テレマティクス保険

テレマティクス技術を使った自動車保険。個別の運転情報をもとに保険料を決めるのが特徴。自動車に設置した端末から走行距離や運転速度、急発進や急ブレーキの回数等の情報を集め、事故のリスクを割り出して保険料を算定する。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ネクス

営業部 TEL : 03-5766-9870